



【先週 4月5日～4月11日の外食の出来事】

■サイゼリヤが新型コロナ対策で酒類の販売制限

サイゼリヤは6日からサイゼリヤ全店で酒類の販売制限を行うと発表した。飲酒の量が増えるに連れ、お客が大声で話をしたり、接近してしまったりする。販売制限をすることで、お客が店内で安心して飲食できる環境にするという。

■東京都、飲食店に営業時間短縮要請へ

飲食店には夜間や休日の営業時間短縮を求め、居酒屋に対しては休業を要請する。今後、政府との調整を踏まえて最終的に決める方針。休業や営業時間の短縮に応じた飲食店などに「協力金」を支払うことも検討している。

■壺番屋の21年2月期、純利益7割減に 新型コロナで客足落ちる

2月期の連結純利益が前期比67%減の10億円になりそうだ。最終減益は2年ぶり。新型コロナウイルスの感染拡大で国内外の店舗で客数が落ち込む。売上高は13%減の450億円、営業利益は57%減の22億円の見通し。

■3月 マック既存店の売上高 52カ月ぶりマイナス

3月の既存店の売上高が、2019年の同じ月に比べて0.1%減少した。売上高が減少したのは、2015年11月以来、52カ月ぶり。外出自粛や営業時間の短縮などにより、客数が減少したことが主な要因としている。

■スタバ、9日から850店舗で休業 緊急事態宣言対象の7都府県

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い政府が緊急事態宣言を出したことを受け、「スターバックスコーヒージャパン」は8日、宣言の対象エリアにある店舗約850店舗を9日から休業すると発表した。期間は「当面の間」としている。

■DDホールディングス、新型コロナウイルス感染拡大に伴い直営全店を臨時休業に

DDホールディングスは、同社グループが運営する直営店舗において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月8日～4月20日の期間で臨時休業すると発表した。

■ブロンコビリー、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う店舗対応について

東海地区の56店舗においては、営業時間を11時～21時に短縮する(通常営業時間11時～23時)、また、関東地区・静岡県・関西地区の77店舗においては臨時休業とする。なお、実施期間はそれぞれ4月8日～4月30日。

■福岡の豚骨ラーメン店「長浜将軍」が破産へ 新型コロナで売り上げ急減

福岡県内で「長浜将軍」などを展開する長浜将軍とグループ会社のモンキチフーズが事業を停止し、自己破産申請の準備に入った。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で売り上げが急減したため、負債総額は精査中。

■東京都 居酒屋、5～20時営業 酒は19時まで 都の休業要請対象に含まれず

東京都が4月10日、休業要請施設を発表した。外食関連では、キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホール、バー、ネットカフェ、漫画喫茶、カラオケボックスに休業要請を行う。発効は、4月11日午前0時から。